

## グローバル人材育成プログラム に参加して

中原 裕介  
Yusuke NAKAHARA  
物質化学科 3年

### 1. はじめに

2016年8月11日から28日までの18日間、グローバル人材育成プログラムに参加させていただきました。アメリカのカリフォルニア州、サンフランシスコに着いてからの最初の3日間はシリコンバレー企業訪問、サンフランシスコ観光ツアーならびに、現地で活躍する日本人によるグローバルキャリアセミナーに参加しました。この3日間はホテルに滞在していましたが、残りの期間はホームステイをしながら Susumu International (USA) Inc. でインターンシップをさせていただきました。

### 2. 参加の目的

私がグローバル人材育成プログラムに参加した目的は三つあります。一つ目は、日本とアメリカにおけるワーキングスタイルや文化の違いを知ることです。日本にいてもインターネットやテレビなどのメディアを通じてワーキングスタイルや文化の違いを知ることができるのですが、実際に現地へ行くことによりそれらを肌で感じるができると思ったからです。二つ目は、英語圏の国へ行くことです。私は以前から TOEIC などの英語の試験のために勉強をしてきました。そこでアメリカに行き、英語力を伸ばすと共に自分自身の英語がネイティブの方にとどのくらい通用するのかを試したかったからです。三つ目は、将来の就職先の選択肢を増やすためです。私は今まで海外に住むことなく日本だけで生きていくと考えていました。それはおそらく今までに外国での生活について考えてこなかったからです。このプログラムはそのことについて考える良いチャンスだと思いました。

### 3. ホームステイ

私のホストファミリーはフィリピン出身の方で、サニーベールという場所に住んでおられました。ホストマザーはとてもお話し好きだったので、時には2時間も話していることもありました。それはとても楽しい時間であったとともに良い英語の勉強になりました。その中で、自分の思いを伝えるのに、きれいな英語は重要ではないと感じました。たとえ文法に間違いがあっても、知っている単語をつなげつつ、ジェスチャーを使えば意思を伝えることができました。積極的にコミュニケーションをとろうとする気持ちが一番大事で、それに少しの英単語を知っていれば、生活していくには十分だと思いました。ホームステイをした期間は2週間と短かったですがとても良い経験となりました。

### 4. インターンシップ

私がお世話になった Susumu International (USA) Inc. はカリフォルニア州のサンノゼにオフィスがあります。進工業株式会社の子会社であり、主に薄膜抵抗器の販売を行っています。実習では三つのことをしました。一つ目はサンプル品の整理です。倉庫にあるサンプル品を抵抗値順に並べ、それを段ボール箱に入れて整理しました。その後、段ボール箱に入ったサンプル品のリストをエクセルで作成しました。リストは以前社員の方が作成してくださったものがあつたので、同じ部分はコピーをし、違う部分に関しては自分で製品名と個数を確認しながら入力を行いました。二つ目はラベルの作成です。個々の製品には“RG1608P-5R0-B-T5”のようにアルファベットと数字を使ってその種類を簡潔に表記してあります。慣れた人ならばこの表記だけでどのような製品かが分かるのですが、より分かりやすくするためにアルファベットや数字の意味を付け加え、図1のようなラベルを作成しました。

P/N: RG 1608 P-5 R 0-B-T 5  
0603, 0.1 W, 5.0 ohm], 0.1%, 25 ppm

Thin Film Chip Resistors

SUSUMU 100 pcs

図 1 作成したラベルの表記例

三つ目は他社の製品の調査です。インターネットを使用して Susumu International (USA) Inc. で扱っている製品と似ている他社の製品の価格、在庫を調べてエクセルでリスト化しました。

## 5. インターンシップを終えて

サンプル品の整理を行う中で、単純な作業でも工夫をすれば時間を大幅に短縮できることを実感しました。最初は何も考えずに、手に取ったものから並べていましたが、いったん 100 オームごとにサンプル品を分類するというひと手間を加えることにより、作業時間は 2/3 ほどに短くなりました。また、サンプル品の整理するうちに目的の品を見つけることが速くなるとともに、どのような製品が何個あるのかの確認ができたことが作業から得られたことです。このように単純な仕事にも業務を行う上で大切な意味があり、会社に大きな利益をもたらすため、一生懸命とりかかるとは大切なことだと感じました。他に実習を通じて感じたことは、職場の雰囲気が良いことでした。その理由は、社長である金牧さんの他人を思いやる気持ちにあると思いました。金牧社長は後ろの人が出やすいように扉を支えてくださったり、昼食の後片付けを率先してやってくれました。バーベキューをした際には、太陽の光が激しく照りつけている中、火の前に立ち食材を焼いていました。また、溜まったゴミはオフィスの外の廊下に置いておけば清掃員の方が処理をしてくれま

すが、清掃員が女性の方だけで大量のゴミがあった日は自ら外にあるゴミ捨て場まで運んでいました。このように他人のことを思いやることのできるリーダーなので職場の雰囲気が良かったのだと思いました。人の上に立つ者は下の者の模範にならなくてはいけないことを学びました。

## 6. おわりに

アメリカでの経験は私にとってかけがえのないものとなりました。自分を見つめなおすことができ、自分に足りないもの、これからの課題などを見つけることができました。与えられたことを淡々とこなすのではなく、普段から作業の意味を考える必要があると思いました。考える癖がつけば積極的に自分から行動することにつながると思います。また、人間としても足りないものを感じました。他人のことを思いやるということは誰もが必ず一度は言われたことのあることでしょう。しかし、それを実践できている人はごくわずかだと思います。私自身も全然できておらず、今後の課題です。さらに英語力の低さを感じました。特にスピーキングの能力が低いので、伝えたいことがすんなりと伝わらず困ることが多々ありました。外国の人を相手にコミュニケーションをとるには英語は必要不可欠なので、これからも勉強を続けていきます。そして、日本とは違いアメリカには白人、黒人、アジア系など様々な人種の方がいました。人種の数だけ文化は存在するので、それに柔軟に対応できる人がグローバルに活躍できる人ではないかと私は思いました。

グローバル人材育成プログラムで得られた経験は将来に生きてくると確信しております。このような貴重な経験をさせていただいたこのプログラムに関わった皆さまに心よりお礼申し上げます。